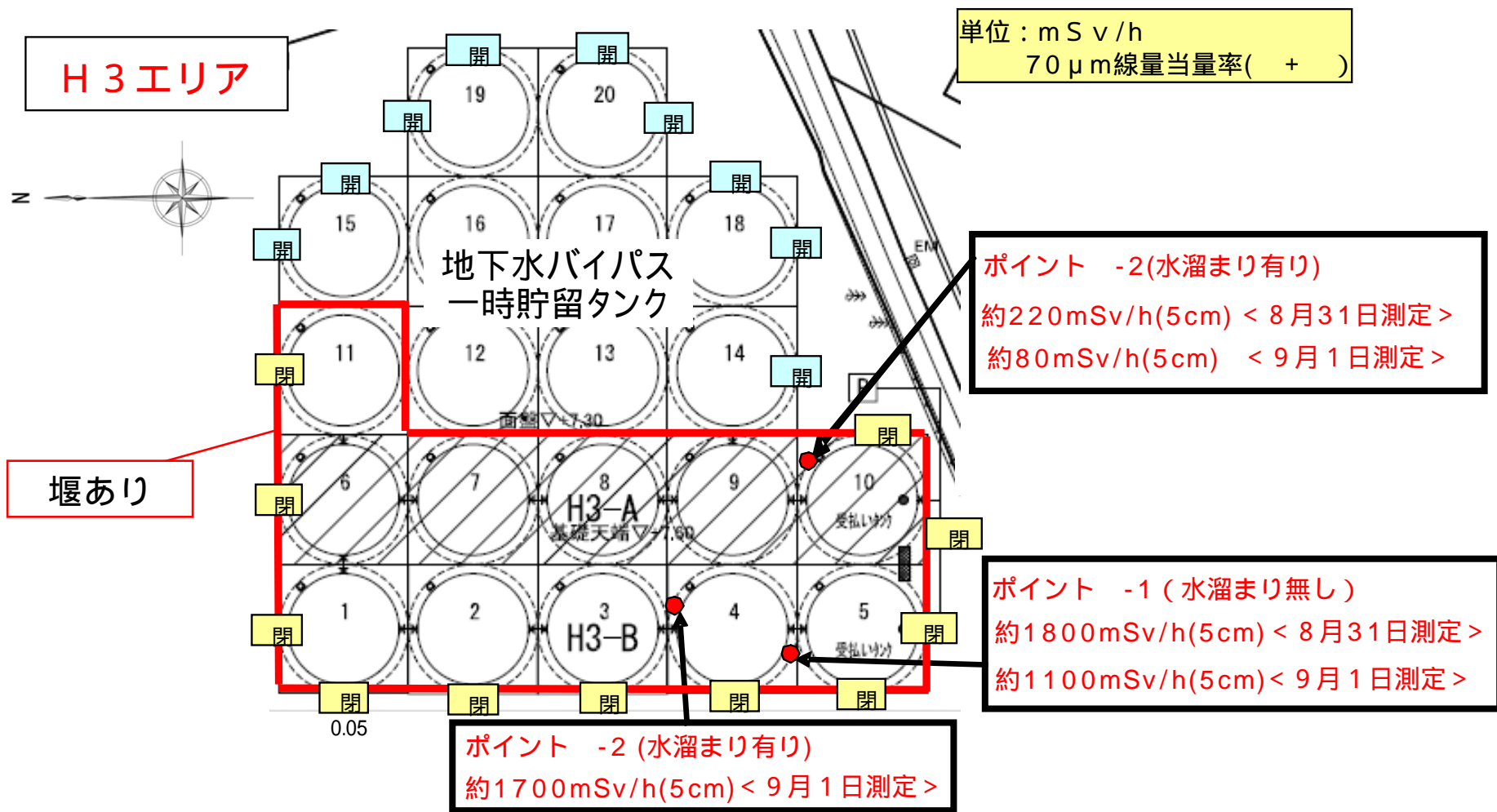


H3 エリアタンクで確認された高線量箇所について

< 参考資料 >
平成25年9月2日
東京電力株式会社

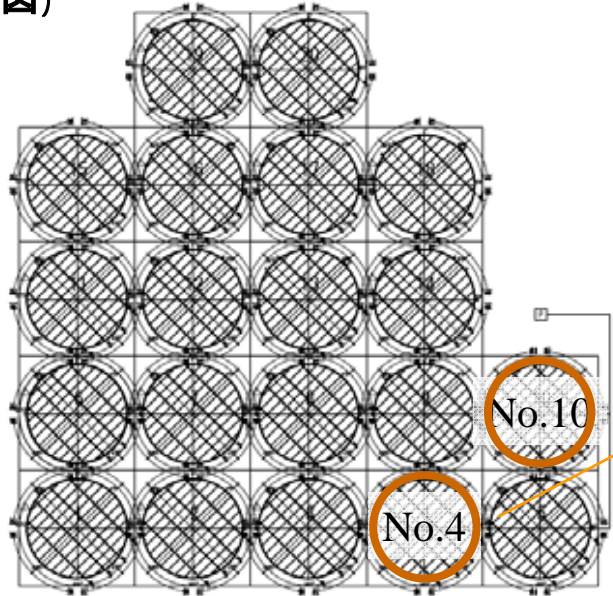
- 8月31日、9月1日のパトロール時に確認された高線量箇所（3カ所）は、
滴下や漏えい痕は確認されなかった
真下の床面は高線量でなかった
ことから 汚染水漏えいを示唆するものでない。引き続き注視していくと共に
高線量の原因を詳細調査していく。
- 高線量箇所はいずれもタンク底部のフランジ部（水膨張による止水機能を有するパッキン端部）であった。
- なお、これら3カ所とは別に、記録基準（タンク周辺1m以内・50cm高さで10mSv/h）未満であったが、周辺より線量が高かった場所について、任意に付近のタンク底部を測定した記録があり、これらも同様にタンク底部のフランジ部であった可能性があるため、今後、詳細調査を実施していく。
- 同様のフランジ部は1基あたり8カ所あるため、他の同型タンクの該当箇所についても今後調査をしていく。

H3エリアパトロール結果

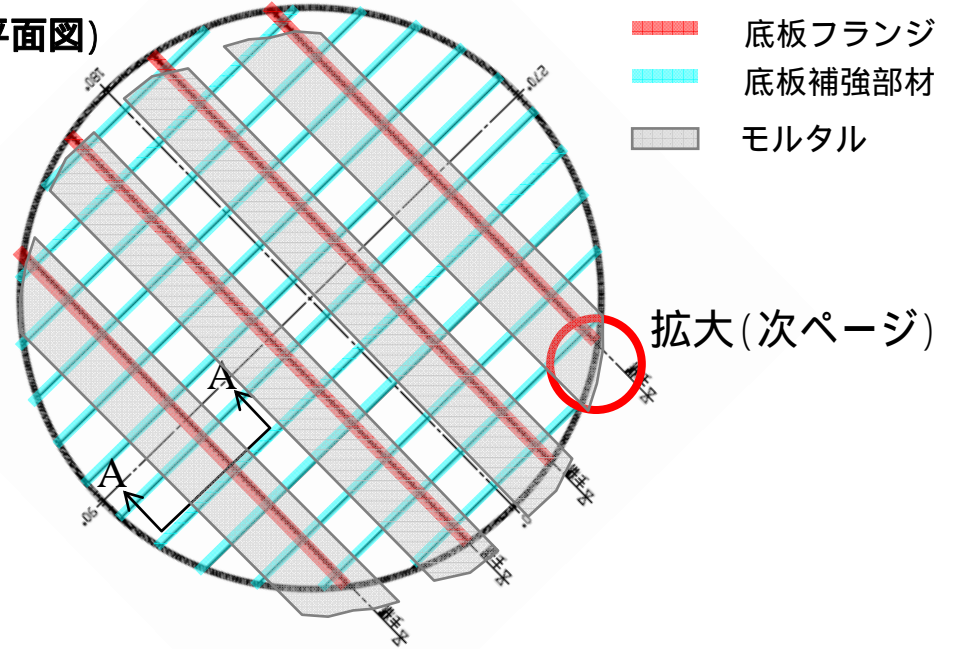


H3エリアタンクの底板の止水構造について

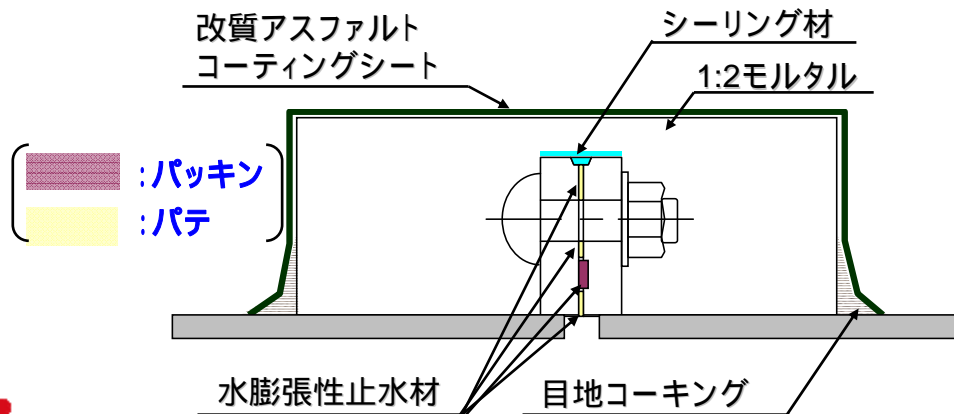
(タンク配置図)



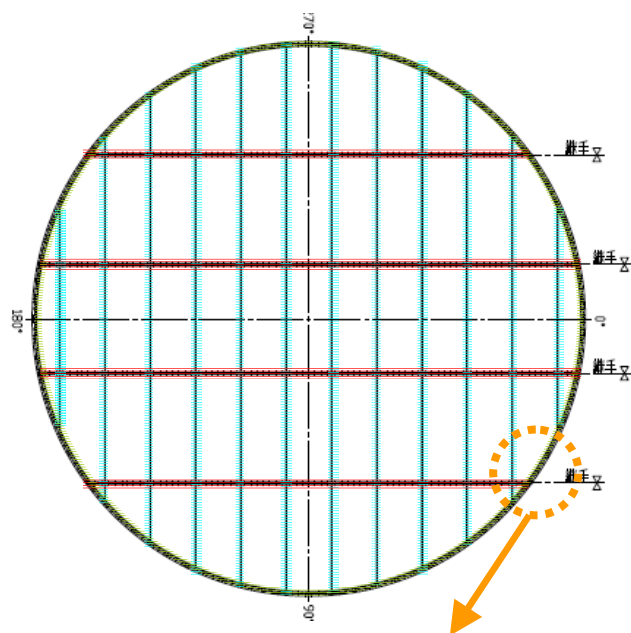
(底板平面図)



(底板止水構造:A-A断面図)

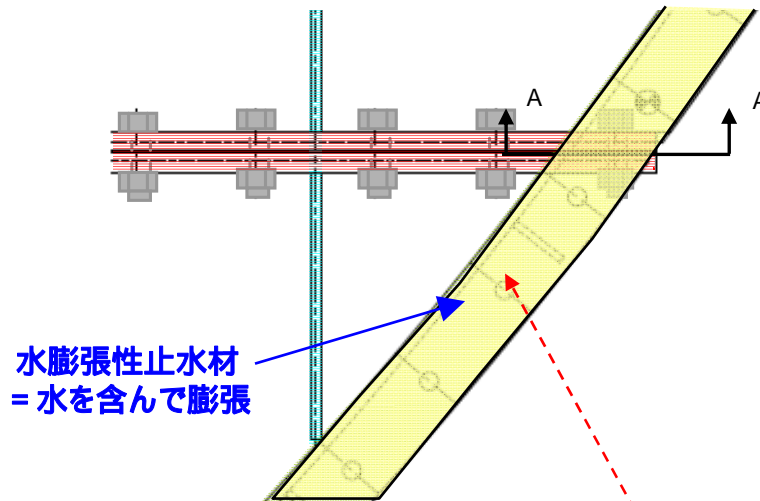


H3エリアタンクの底板の止水構造について

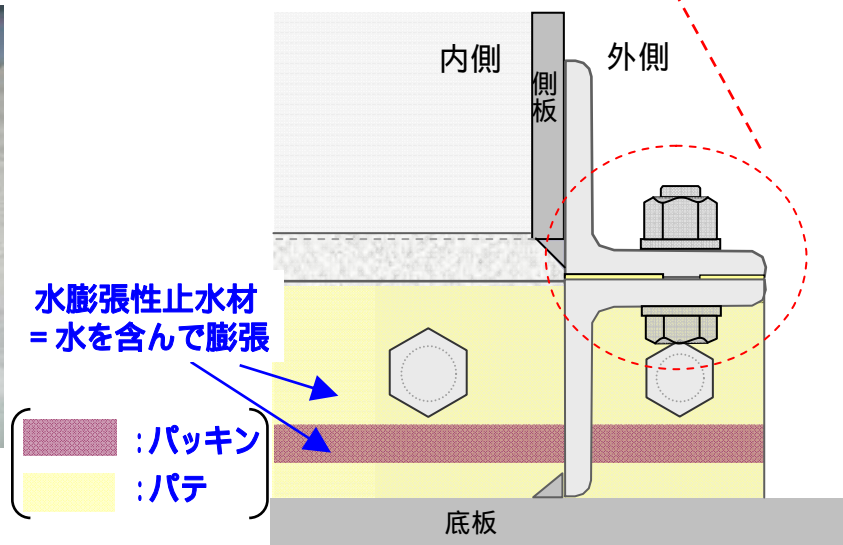


タンク底板フランジ接合部写真

< 拡大平面図 >



< A - A断面図 >



写真によるイメージ

